「ない」の違いがわからない？（文法のまとめ）(4)

品詞・用法の識別

●「……らしい」

・**推定の助動詞**…「どうやら～」を補える。
（例）彼は 先生の 子どもらしい。

・**形容詞の一部（接尾語）**…「いかにも～」を補える。
（例）彼は 子どもらしい 性格だ。
※「子どもらしい」という形容詞の一部。

●**助詞「の」**

・**連体修飾語を表す格助詞**…前後が名詞である。
（例）私の本。

・**主語を表す格助詞**…「が」に言い換えられる。
（例）雪の降る日。 → 雪が降る日。

・**体言の代用として使われる格助詞**
…「～のもの・こと」に言い換えられる。
（例）これは私のだ。 → これは私のものだ。

・**終助詞**
（例）いつ終わるの。

●**助詞「が」**

・**格助詞**……主に体言に付く。
（例）鳥が飛ぶ。（主語）

・**接続助詞**…主に用言や助動詞に付く。
（例）春になったが、まだ寒い。（逆接）
※「しかし」に言い換えられる。

●**助詞「から」**

・**格助詞**……主に体言に付く。
（例）学校から帰る。（起点） 小麦から作る。（原料）
疲れから体調をくずす。（原因・理由）

・**接続助詞**…主に用言や助動詞に付く。
（例）暑いから休む。（原因・理由）
※「だから」に言い換えられる。

●**助動詞「れる・られる」**

・**受け身**…「～に…される」と言い換えられる。
（例）名前を呼ばれる。

・**可能**……「～することができる」と言い換えられる。
（例）早く起きられる。

・**尊敬**……接続する動詞が、尊敬の対象となる人物の動作である。
（例）先生が話される。

・**自発**……「自然と」を補える。前に心情を表す語がある。
（例）彼のことが案じられる。

●**助動詞「そうだ」**

・**様態・推定**…動詞の連用形や形容詞・形容動詞の語幹に付く。
（例）雪が降りそうだ。

・**伝聞**………用言の終止形に付く。
（例）雪が降るそうだ。

確認テスト

(1) 次の——線部は何か。それぞれ選びなさい。

① 次の発表者は彼らしい。 ［　　］

② 彼らしい発表だった。 ［　　］

ア 推定の助動詞　イ 形容詞の一部

(2) 次の——線部の助詞の働きを、それぞれア～ウから選びなさい。

① 桜の咲く季節が来た。 ［　　］

② これは誰のですか。 ［　　］

③ 先生の本を借りる。 ［　　］

ア 連体修飾語を表す。　イ 主語を表す。

ウ 「～もの・こと」という意味を表す。

(3) 次の——線部が、格助詞ならア、接続助詞ならイで、それぞれ答えなさい。

① 庭に美しい花が咲いた。 ［　　］

② 急いだが間に合わなかった。 ［　　］

(4) 次の中から、——線部が接続助詞であるものを選びなさい。 ［　　］

ア 終わったから帰ろう。　イ 教室から出てきた。

ウ 姉からもらった本。　エ 古紙からつくられた製品。

(5) 次の——線部の意味を、それぞれア～エから選びなさい。

① 昔のことがしのばれた。 ［　　］

② 先生から声をかけられた。 ［　　］

③ 私はぐっすり寝られた。 ［　　］

④ 家にお客様が来られた。 ［　　］

ア 受け身　イ 可能　ウ 尊敬　エ 自発

(6) 次の——線部の意味をそれぞれ選びなさい。

① 外は風が強そうだ。 ［　　］

② 外は風が強いそうだ。 ［　　］

ア 様態・推定　イ 伝聞